

平成 26 年度 大阪府立河南高等学校 第 2 回学校協議会 記録

〔 日 時 平成 26 年 10 月 23 日 (木) 15:00~16:30 〕
〔 場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 議事

(1)現状報告

- ① 授業アンケートについて (教頭)
- ② スタディサポート、高校生活と健康意識調査について (教頭)
- ③ 学校説明会等について (吉村首席)
- ④ 勉強合宿について (備後首席)
- ⑤ 自治会生徒との懇談
- ⑥ その他

(2)質疑応答・協議

①授業アンケート

- ・生徒の結果と教員との比較でズレが生じている場合がある。このズレの原因に改善のヒントがある。教員どうしが協議を行うことも大切である。
- ・先生から生徒へリアクションペーパーを使い、生徒のアンケート結果に対して先生より生徒に説明をしてあげる。

②スタディサポートと意識調査

- ・家庭学習が少ないのは極めて憂う。一方で大学進学意識が高い。
- ・家庭での学習時間が決まっていない。知的な好奇心など知的な側面を育てていくのは難しい。
- ・家庭での団らんが少ない。親と話をしないで、携帯でやり取りをしている。団らんを多くすることで勉強の意欲が高まる。PTA を巻き込んだ家庭教育への支援が必要となってきたのではないだろうか。
- ・調査内容に読書、新聞など知的環境を調べてはどうか。
- ・バズ学習で授業以外の知的空間をどれだけうまく取れるか。行うことはとても良いことだと思う。
- ・中学では 3 年間朝学習で週に 1 回、新聞に接する時間を作っている。

③学校説明会

- ・大学では生徒が案内する。

⑤生徒自治会よりこれまでの取り組みの報告の後、学校への要望を上げる。

- ・共同募金に協力参加したこと、地域の人とつながるためにごみ拾いをしたいという内容を受けて=>ボランティアをしようとする意識が高い。
- ・ここに河南ありといえるものを作ればどうか。
- ・生徒が挨拶するために一歩前に入るような仕掛けを作ればどうか。

3 次回連絡

第 3 回学校協議会 1 月 29 日 (木) 15:00~